

甲斐市教育委員会第10回定例会議事録

- 1 日 時 令和2年1月30日(木)午後1時30分
- 2 場 所 甲斐市役所 新館2階 教育委員会会議室
- 3 開 会 午後1時30分
- 4 出席者 【教育長】三澤宏教育長
【委員】中込正久職務代理者 長田明美委員
小林啓子委員 金子初男委員
【説明員】樋口充教育部長 加藤文雄教育総務課長
興石信学校教育課長 飯沼秀司生涯学習文化課長
山岡広司スポーツ振興課長 保坂和也図書館長
窪田美世学事係長
- 5 傍聴人 なし
- 6 事務局 名取藤吾教育総務係長 柴崎唯教育総務係員
- 7 前回議事録の承認 令和元年度 第9回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 議 題
第1号 令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
- 10 その他
 - (1) 令和元年度教育関係団体からの要望書に対する回答案について
 - (2) 甲斐市教育委員会の事務の管理、執行の状況の点検及び評価について
 - (3) 第2次創甲斐教育推進大綱(案)に対する意見・提言等について
 - (4) 令和元年度卒業式及び令和2年度入学式の出席者について
 - (5) 令和2年成人式の結果について
 - (6) 第16回甲斐梅の里クロスカントリー大会について
 - (7) 第3次甲斐市子ども読書活動推進計画(案)に対する意見・提言等について
 - (8) 2月の行事予定について
- 11 閉 会 午後3時15分

○開 会

事務局 開会を宣する。

○あいさつ

教育長 1月はいろいろな行事がありました。ありがとうございました。それでは会議に入りたいと思います。

○教育長報告

教育長 それでは、令和2年1月の諸報告をさせていただきます。主なものについてご報告申し上げます。

12日、午前10時から、令和2年甲斐市成人式が行われました。

出席の結果等については、後程説明がありますが、式典等において事件事故もなく無事に終了でき、関係者には感謝申し上げます。

21日、午後2時から、第12回B&G全国サミットが港区三田の笹川記念館で開催され、地域海洋センター所在の市町村長、副市長、教育長が全国から約500人出席しました。

日本財団笹川会長の「世界から見た日本」と題した基調講演や、匿名で1億円の寄付があったお話、財団の取り組みの他、長野県白馬村・福井県大野市・鹿児島県天城町（徳之島）の首長によるパネルディスカッション、優良海洋センターの表彰等が行われました。大野市の女性の市長は元官僚で、女性消防団「結いの故郷女性分団」約100名を結成するなど防災に取り組んでいる内容等も含め印象的な市長でありました。なお、本市のB&Gプールは来年度表彰される予定です。

25日、午後1時から、敷島総合文化会館において、文化協会主催の文化講演会が行われました。昨年の10月12日に開催予定でしたが、台風19号により延期となり、1月25日に開催されたものです。講師は、ハンガリー出身の世界的数学者、大道芸人でもあるピーターフランクルさんで、皆さん待ちに待っていた講演会でした。マネージャーなどもおらず、自分のテーブルの上で書籍やパズルを売っていたそうで、こういったところでも効率良くされていたのだと思いました。私も数学の書籍を購入しましたが、初めの部分からとても難しい内容でした。

28日、午後1時25分からは、竜王小学校の公開研究会が開催され、教

育委員、議会の皆さんをはじめ、多くの教育関係者が参加され、有意義な研究発表会が行われたと思っています。

令和元年度も残り2か月余りとなりました。教育委員会で予定されている今年度の事業や業務等も順調に執行してきています。2月に入りますと、12日からは、3月定例議会の一般質問の受付が開始し、いよいよ3月議会に入っていくこととなります。

教育委員の皆様には、1月は行事が多くご負担をおかけしましたが、2月13日木曜日には、第3回総合教育会議が開催されます。

今年は、インフルエンザの流行に加え、新型肺炎の国内感染の拡大が懸念されています。児童生徒、教職員に対し、注意喚起を図っていきたいと考えています。

以上、私からの1月の諸報告とさせていただきます。それでは、本日もよろしく申し上げます。

○議題

教育長

議題の審議に入ります前に、議題第1号「令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について」は、個人情報に関する事項が含まれます。したがって、甲斐市教育委員会会議規則第15条の規定により、議題第1号を非公開とすることについてお諮りします。

非公開とすることにご異議はございませんか。

一 同

異議なし。

教育長

ご異議がありませんので議題第1号は非公開といたします。

【非公開】

教育長

1号議案はこれで終了いたします

非公開とした議題第1号「令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について」の審議が終わりましたので、これより公開とします。

【ここから公開】

○その他

(1) 令和元年度教育関係団体からの要望書に対する回答案について

事務局

(資料説明)

教育長

これはいつ渡す予定ですか。

事務局

2月5日の予定です。

委員

連番号1番の回答について、「今後も増員を求めていきますが、厳しい財政状況の中、今のところ大幅な増員は見込めませんので、引き続き現体制での各学校の対応をお願いします。」とありますが、別冊「甲斐市教育委員会の事務の管理、執行の状況の点検及び評価について」の93番に「市単独学校教育支援員等配置事業に」について、「拡大をしていく」という方向が示されています。こちらで拡大していくとありますので、要望書に対しても同じように表現することはできないのでしょうか。

また、連番号1番の「スクールカウンセラーの配置につきましては、不登校児童及び悩みを持つ児童・生徒・保護者にとって～」とありますが、ここの「不登校児童」から「児童」という字は取ってしまった方が良いでしょうね。

さらに、連番号9番の「学校給食について」における内容等に、「この点への配慮を一掃していただけるとありがたい」とありますが、「一掃」ではなく「一層」ではないのでしょうか。

教育長

誤字、脱字については今後のこともありますので、相手方にも伝えた方が良いでしょうね。質問の回答をお願いします。

事務局

事務事業評価において「拡大」となっているのには、市の部長会議の中でのことですので、必要性は市で認めていてこれから拡大する必要があるだろうという意味だと思います。要望の回答につきましては、より現実的な部分として「拡大」を希望していますが厳しい財政状況があるので、回答の段階で大きく「拡大」とは出せず、「増員を求めていく」という表現に留めています。内側に出すものと外側へ出すものとで付度がありました。

回答について、積極的に「拡大を進めていく」という表現を盛り込んでも良いものなのでしょうか。

例年拡大をお願いしていますが、現実的には大きな拡大にはつながっていません。

委員 例年なのですね。

委員 去年と一昨年とで2人増えていますね。

事務局 来年度も1名分の予算は増えています

委員 「今後も増員を求めています。厳しい財政の中～」と言った方が多少は良いと思います。

教育長 そうですね、これも公表されますので、拡大が必要であるということ概ね認めていただいているけれども、財政面のこともあるので大幅に拡大はできないということですね。回答の表現を若干変えた方がよいかもかもしれませんね。

委員 同じく連番号1番に「市独自の特別支援学級専属の学校教育支援員の配置は厳しい状況です。」とありますが、各学校では支援員をどこに充てるのが良いか考えて、行っていますよね。

事務局 学校教育支援員という形で配置をして、実際は学校の実情に応じて学習指導を本務にしている所もあれば、特別支援学級で在籍人数が多いけれども県の配置が1人しかいないという所には、主に特別支援を行っていただく支援員も出てきます。しかしながら、特別支援学級専属の支援員の配置は難しいです。

委員 結局、学級数を増やすことはできませんから、難しいということで良いのではないのでしょうか。

事務局 要望の内容等に「特別支援学級への支援員の配置」という要望がありましたので、それに対して回答をしたという形になります。

委員 分かりました。

教育長 また、来年に向けて、4つの要望が出ていますので、PTAは別としても他の所には何年も同じ回答をしていて、どうしても厳しいという説明をしてありますので、一度削除してもらった方が良い気もします。

もう少し絞って要望された方が良いと思います。また、関係するところへ話していただきたいと思います。

委員 これを見ていると、まだ10年も20年も経っていませんよね。もっと違う様式にしたり、内容も無理のないようなことを要望していただきたいと思います。それでもそういった要望はたくさん出てきますので、現実と照らし合わせて項目を絞ってあげたりしないといけません。

こちらとしても、いつも良い返事ができるわけではありませんが、支援員も多少は増えていますので、要求しないことには始まりません。可能性のあるようなことを言っていただきたいです。

教育長

お互いに毎年同じことを言っていますので、やはり見直す必要性があると思います。児童生徒の安心安全に密接にかかわってくるものであれば継続するということがあります、そうでないものもありますので精査していくことが必要です。

本当は意図していることを聞ければよいので、もう少し聞いてみてもいいかもしれません。

委員

P T A側から考えると、1校だけだと弱いから16校でお願いしているということもあります。そういったことは精査しないといけません。ポイントを絞る必要があると、お願いした方が良くないかもしれません。

教育長

分かりました。

他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同

異議なし。

(2) 甲斐市教育委員会の事務の管理、執行の状況の点検及び評価について

事務局

(資料説明)

委員

101番に「竜王中部公園セミナーハウス管理運営費」とあり、普通の公民館と違い、市外の人でも貸し出しができるというメリットがあります。しかし、子ども向けの講座は他の公民館と同じように行っているのに、なぜ中部公民館の時にいた公民館運営審議委員が中部セミナーハウスになってからはいないのでしょうか。

事務局

公民館の審議委員は条例で定められた委員となるため、公民館ではないセミナーハウスにはおりません。もし、セミナーハウスでも地域の活動について検討する委員を設けるということであれば、別で設けなければなりません、現状ではそういったことは行っておりません。

社会教育委員と同じような方々と情報を共有しながら、市民の方々に対しては、施設によって格差が無いように同じことをしています。

教育長

やっていることは同じですね。私が南部公民館まつりに行った後に中部セミナーハウスのイベントに行きましたが、やっている人や関わっ

ている人は同じです。

事務局 お祭りに関しては利用者団体の発表の場ということなので、難しいところがあると思います。

教育長 そんなに違うということは無いと思います。他の公民館はそれぞれ委員がいるのに、中部セミナーハウスだけはいないというのはどうなのでしょう。今後検討していく必要があります。

事務局 2か月に1回、公民館の館長とセミナーハウスの所長を交えた会議をしていますので、そこで教育委員会の会議でご意見があったと伝えて、今後どうしていくか検討していただきたいと思います。

教育長 お願いします。

その他ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同 異議なし。

(3) 第2次創甲斐教育推進大綱（案）に対する意見・提言等について

事務局 （資料説明）

教育長 今後の予定はどうなっていますか。

事務局 2月13日に議会の総務常任議会がありますので、そこで報告いたします。また、2月17日にプロジェクトチーム会議があり、2月20日の策定会議で報告をさせていただき、成案という流れとなります。

教育長 最後のLGBTについてですが、「LGBTの記載については、参酌した県の計画に無いため、今回記載はいたしません」とあります。「県に無いから記載しない」という部分が引っ掛かります。

委員 県にあるか無いかではなく、甲斐市独自のものを作っていくということが大切だと思います。LGBTはその前に「一人の人間として尊重していくこと」と書かれていますので問題は無いと思います。

教育長 県で無いから甲斐市でも載せないと言っていること自体が、議会で指摘される可能性があります。「一人の人間として尊重していくこと」という表現になっているのであえてLGBTという言葉は載せません」とした方が良いと思いました。

ここについては若干修正を入れたいと思います。

委員 もしくは、「LGBTの記載については、参酌した県の計画に無いため、

今回記載はいたしません」という文言を削除してしまってもいいかもしれません。

教育長 そうですね。今回はもう掲載しないということにしても良いですね。
「一人の人間として尊重していく」ので、あえてLGBTという表現を
載せないという言い方ですね。また、考えていただきたいと思います。
委員 体育関係が多いですね。知育や徳育などはあまりありませんね。
教育長 今年はオリンピックもあるので注目されているということもあります。
その他ご意見、ご質問はございますか。なければよろしいでしょうか。
一 同 異議なし。

(4) 令和元年度卒業式及び令和2年度入学式の出席者について

事務局 例年どうしても偏りが出てきてしまう傾向がありましたので、卒業
式・入学式の日程表に出席者を案として記載させていただきました。ご
検討していただき、変更が必要であれば変更していただきたいと思います。
教育長 あくまでもこちらの事務局で作った案ですので、決定ではありません。
委員の皆様からのご意見をいただきたいと思います。
事務局 入学式の職員の氏名は異動等の関係で割愛させていただいております。
委員 毎年、同じ学校の卒業式、入学式に出席していたので、違う学校にも
行かなければならないと思っていました。
教育長 どうしても変更が必要ということであれば、検討させていただきます
のでご連絡いただきたいと思います。市長がどこに出席されるかは分か
らないのでしょうか。
事務局 分かりません。
委員 卒業式・入学式の日程は確定ですか。
教育長 確定です。また、なにかありましたらご連絡をお願いいたします。
その他ご意見、ご質問はございますか。なければよろしいでしょうか。
一 同 異議なし

(5) 令和2年成人式の結果について

事務局 (資料説明)

委員

今年も今まで以上にスムーズで良い成人式で良かったと思います。プログラムも、いつもとは趣の変わった斬新なイメージで、大変良かったです。

しかし、成人の皆様は自分の出身の中学校なので分かると思いますが、私たちから見ても写真などは分かるようにしておいた方が良かったと思います。

事務局
教育長

ありがとうございます。来年度からの検討材料とさせていただきます。

市長からいくつかご意見をいただきました。1点目は、卒業した各中学校の先生たちをもっと前面に出すべきではないかということです。しかし、議員よりも前面に出してしまうと、並んでいる順番のことを議員から言われてしまうと思いますし、表立ったところに先生が並ぶと、そこにばかり注目して見てしまう懸念もあります。市長からは、教育委員ももっと前面に出てもらいたいとお話もありましたが、成人式の方々がメインなので、良くないのではないかと思います。

また、最初は暗くしておいて、スポットライトを当てれば、より注目されるのではともおっしゃっていました。

スポットライトについては検討するとしても、議員よりも先生を前面にということについては、今まで通りの方が良いと伝えていきたいと思っています。

委員
教育長

式が終わった後に先生と生徒でお話もしていますよね。

先生が初めからいると、そこばかり見てしまって、集中できないと思います。式典なので、最初は大人しくしていただき、その後にスライドを出して先生たちとお話をしていただく方が良いと思います。

委員
委員

スライドにもそれぞれの先生が映っていますよね。

インターネットで「なぜ成人式に参加しないのか」という記事を見ました。小学校・中学校時代に不登校で、参加しても仲良くできるお友達が会場におらず、ポツンとしてしまうのが嫌だとか、いじめられていた経験があり、当事者に合うのが怖いということなどが理由で行かなかったという話を聞いています。先生方はとても努力をされていると思いますが、不登校やいじめについて、早期解決してあげれば後々の成人式に行きづらいということもなくなります。また、成人式に行かなかったと

親に申し訳ないという心の傷を負うということも聞きました。出席率の80.6%というのもすごい数字なのですが、できることなら全員が来られるような式になれば良いと思いました。

教育長

不登校等についてはこちらもいろいろと対策をしていますが、大きな効果は得られず、先生たちが地道に努力して、日々の成果が少しずつ学校に出たりしております。家庭や本人の状況もありますが、市教委としてもいろいろな取り組みをしていきます。

事務局

個々の事案によって背景も違いますので、限られた人員の中で努力をしています。不登校にもいくつもの要因が絡んでおり、そのひとつの結果として不登校という形で現れます。それを紐解いていくことはとても時間がかかりますが、いじめも不登校もゼロの方が良いので、学校にもそれを目指して取り組んでもらえるように話をしていきたいと思っております。

やはり、人間関係の土台になりますので、甲斐市でも未然防止の中できちんとした学級作りが大切です。そういった研修もしております。地道に進めていくということを確認しながら続けていきたいと思っております。

教育長

他に、ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同

異議なし。

(6) 第16回甲斐梅の里クロスカントリー大会について

事務局

(資料説明)

教育長

当日はゲストランナーとして武田菱丸くんも走ってくださるそうです。

委員

やはたいぬくんは走らないのですか。

教育長

やはたいぬくんは走りません。ですが、会場には来てくれると思います。

事務局

武田菱丸くんにも2人の補助員が付くそうです。

教育長

雪も降らず、天気が良いければ良いと思います。

他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同

異議なし。

(7) 第3次甲斐市子ども読書活動推進計画(案)に対する意見・提言等について

事務局

(資料説明)

委員

2番のセカンドブック事業というのは2回目の本を配るということですか。

事務局

おそらく、ここで言っているのは本をそのまま配るということだと思います。

委員

お金があるのであれば良いことだと思いますが、学校の図書室を利用して自分の好きな本を探させる方が大事だと思います。自分で探すと、面白い本があれば、同じような傾向の本を探すようになっていたりと思います。回答のように頑張っていたいただければと思います。

事務局

今まではありませんでしたが、公共図書館の司書と学校図書館の司書とで何回か会議を開き、低学年・中学年といった年齢に応じたおすすめ本を示した方が良いということで平成30年度から学校に配らせていただいております。

委員

学校に無いような本が市の図書館にいけばあるということ伝えていただければと思います。自宅から市立図書館へ行くことは遠くて大変という場合もありますが、その辺の配慮も親御さんや学校にお願いすることも併せて案内させてもらえれば尚良いと思います。

あるものを利用して、自分で見つけていくことも大切かと思います。

委員

ビブリオバトルとはどういうことでしょうか。

事務局

壇の上に上がる人が自分の好きな本をPRするというものです。

委員

読書紹介ということでしょうか。

委員

例えば私がAという本を推薦します。そして別の方がBという本を推薦します。他の人がそれを聞いて、AとBの本のどちらの方が良かったかというバトルをすることです。

これに関連して、この意見には「高校生や大学生のビブリオバトル」とありますが、回答の「学校と連携」というのは高校や大学生を想定しているのでしょうか。実際的には小学校の高学年や中学校でもビブリオバトルをやっている学校は多いと思います。

事務局

子ども読書が高校までですが、市で行う時は小学校の高学年や中学校との連携で考えています。以前も行ったことがあるようですが、行うに当たっては発表してくれる子どもたちが重要になりますので、学校との

連携が必要になってきます。

委員 お互いに宣伝しあって、聞いている人がいいと思った方を選ぶということですが、何の効果があるのでしょうか。

事務局 発表する力が得られます。

教育長 ビブリオバトルという言い方ですよね。この言葉は推進計画の中には出ていないのに議員から意見を貰ったのですね。であれば、回答するときに注釈を入れておかなければいけません。

委員 「定期的実施してほしい」ということは、この議員はビブリオバトルに教育的効果があると思っているのですね。

事務局 読書に親しむというよりも、表現力を付けたり論理的思考を身に着けたりプレゼンテーション力を高めるといった観点と、教材として本の良さを伝えるという意味もあります。

教育長 ディベートのようなものですね。

委員 それは分かりますが、どちらの本が良いかを評価することが理解できません。

事務局 評価する人は主体的に聞いて、評価力を付けていくこともできます。「ビブリオバトル」は最近では現場でよく飛び交う言葉です。

事務局 もともとは大学から発祥したもので、プレゼンテーション能力と本を読みたいというものを合わせたものになります。

委員 義務教育の中ではバトルではなく、発表ということなら良いと思いますが、どちらが良いという形にするのはおかしいと思います。

委員 読書紹介は今でも行っていますからね。

委員 バトルさせることで、発表した人と応援した人と会場の人たちの一体感で盛り上がる、ゲーム感覚のものですね。私たちにとっては関わりやすいと思います。

教育長 高校生や大学生なら良いと思いますが、義務教育の中で行うというのはどうかと思います。

委員 意見では「高校生や大学生」とあるので、小学生のことを言っているわけではないようですね。

教育長 3その他の修正箇所等とありますが、これは議会で説明する際もこの部分はあるのでしょうか。

事務局

あります。

教育長

第2次創甲斐教育推進大綱（案）に対する意見・提言等にも3その他の修正箇所等がありましたが、そのうち「はじめに」の部分については」とありますが、どの部分のことなのかが分からないので、そのページを抜粋してコピーを付けた方が良いでしょうと思います。

事務局

ここは言わなくてもいいかもしれませんね。

教育長

そうですね、言うのであれば、コピーが無いと分かりません。

事務局

わかりました。削除します。

委員

ビブリオバトルについてですが、議員は「高校生や大学生」と言っているのに回答では「学校と連携していく」とあります。これは学校と検討するよりも図書館自体が高校生や大学生に対して募集する方が良いでしょうと思います。小学校や中学校と連携を図るとするのはおかしいと思います。

事務局

そうですね。学校と連携という部分は削除します。

教育長

子ども読書計画の中ではなく、一般的な図書館の事業として考えていくということだと思います。また図書館運営協議会で検討してください。

その他ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同

異議なし

(8) 2月の行事予定について

事務局

(資料説明)

教育長

ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同

異議なし。

○閉会

事務局

本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。

閉会時間

午後3時15分